

令和5年度 大田区区民協働推進会議（第2回）

日時：令和5年6月29日（木）

場所：大田区役所本庁舎 901 会議室

【議題】

- 1 中島会長挨拶
- 2 令和5年度地域力応援基金スタートアップ助成、ステップアップ助成[新規]選考について
- 3 その他

【出席者】

委員：中島・安武・中平・和田・酒井・前田(代理)・芦川・中原・山本

事務局：地域力推進部長・区民協働担当課長・区民協働担当係長・区民協働担当1名・協働推進アドバイザー1名

【会議録】

事務局	<p>ご出席の方が、全員揃いましたので、令和5年度第2回大田区区民協働推進会議を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、牛山委員、濱住委員、岩井委員からご欠席の連絡をいただいております。また、芦川委員は、30分程度遅れてくるということで連絡いただいております。ただいま、委員11名のうち7名の方にご出席いただいております。過半数に達しておりますので、大田区区民協働推進会議設置要綱第6条の規定に基づき、会議は有効に成立したことをご報告申し上げます。</p> <p>なお、本日は、岩井委員の代理として、日本生命保険相互会社から、前田様に出席していただいております。また、第一生命株式会社からは、藤本様にもご出席いただいております。</p> <p>それでは、はじめに中島会長にご挨拶をお願いいたします。</p> <p>《会長挨拶》</p>
事務局	<p>ありがとうございました。ここからは、中島会長に進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、令和5年度の地域力応援基金助成事業、スタートアップ助成とステップアップ助成の新規選考につきまして、事務局よりご説明よろしくをお願いいたします。</p> <p>《資料に沿って説明》</p> <p>《委員全員で審議》</p> <p>《委員全員で承認》</p>
会長	<p>予定しておりました議題は以上でございます。事務局から最後に報告事項があります。それでは、事務局よろしくをお願いいたします。</p>

事務局	<p>令和5年度・6年度の調査研究について、併せての令和3年度・4年度区民協働推進会議報告書について、ご報告をさせていただきます。</p> <p>4月の会議の中でも、ご説明させていただきましたが、2年を任期に区民協働推進会議の役割としまして、先ほどの助成金の審査と、もう一つ連携協働を含めた調査研究をこの会議体で一つのテーマについて調査・研究をし、活動報告書という形でまとめていただき、さらに、大田区長のほうに提言を行うといったことが、大きな役割としてあります。</p> <p>会議でテーマを決めていく中で、活動の助成金は、その後の活動の実態が、なかなか見えづらい、活動のいわゆる成功例をもう少し共有できないか、何か掘り下げることができないかと考えまして、区民活動団体を支援するオーちゃんネットというサイトを通じて、登録している団体様向けに、連携協働に関するアンケートを実施しました。</p> <p>そこで、連携協働に関するいろんなご意見を聞き、それを踏まえて、アンケートに答えていただいた団体の中から幾つか抽出いたしまして、実際の活動や活動を始めるに至った経緯を取材しに行ってきたものをここにまとめてあります。</p> <p>その中で、アンケートやそのヒアリングの中から連携協働の在り方というのを区長に提言する形で導き出していったというのが、この本書の内容になります。</p> <p>この区民協働推進会議の中でも、進捗の中で議論させていただきながら作りますが、主にこちらの編さんに携わっていただいているのが、協働推進アドバイザーになります。こちらは、協働推進アドバイザーさんのほうから、改めてこの活動報告の概要をお話いただければと思います。</p>
協働推進アドバイザー	<p>私のほうから調査研究の概要と昨年度、前々年度のことについて簡単にご説明をさせていただきます。</p> <p>事務局がご説明をしていただきましたように、この推進会議においては、特定のテーマを制定いたしまして、2年をかけて調査・研究を進めております。</p> <p>令和3年度、4年度につきましては、高齢化・人口減少を見据えて、大田区において連携協働をどうしていくべきかをテーマとして設定いたしまして、アンケート調査、ヒアリング調査を実施して、政策を今後、大田区で取り入れていったらいいのではということ提言としてまとめさせていただいたという形でございます。</p> <p>中身につきまして詳細は、お時間があるときに見ていただければと思いますが、大きいお手元の資料の44ページをご覧ください。</p> <p>項目として4、今後の行政に求める政策の方向性ということで、大きく政策の方向性を三つ提言として、この推進会議から出させていただいたという状況でございます。</p> <p>一つ目は、今後、東京都大田区におきましても、高齢化、人口減少というものが迫ってくるという中で、一つは、地域における公共人材、地域の地域活動の担い手を発掘・育成していく必要があるだろうということで、それに伴う政策・取組を提言として書かせていただいております。</p> <p>政策の方向性の二つ目としましては、45ページに、さらなる連携協働の推進について、既に、大田区におきましても連携協働の取組は、進められているところでございますが、これを引き続き推進していく必要があるということで、先ほどの基金の助成が終</p>

わった後、団体が継続して活動できているのか。フォローアップというものが、これまでに必ずしも十分ではなかったのではないかという課題もありまして、そのような取組をこの中で書かせていただいております。

三つ目としましては、資料の46ページ、政策の方向性3ということで、行政体制の整備と計画化ということでもあります。

現在、連携協働という部分につきましては、地域力推進部、地域力推進課が所管として主に担っているところでございますけれども、実際のまちづくり活動・地域活動については、例えば、防災の活動であれば、当然、防災の所管課とのやり取りがございますし、教育・生涯教育であれば、教育委員会との連携というものはあり得るところで、そういった大田区全体の職員の連携協働に対する理解を深めていく必要があるだろうと、例えば、職員研修の充実・実施ですとか、現状、今、協働を計画的にどう進めていくかという部分が、なかなか計画化、個別計画化はされておられませんので、そのようなものを計画化したり、政策を評価できる体系というものを作ったらいいのではないかと、提言をさせていただいたところでございます。

この内容につきましては、来月、区長様のほうに提言をされると伺っております。今後、また2年をかけて、テーマにつきまして、まず、皆様からご意見・ご議論をさせていただいて、テーマを設定させていただいて、2年をかけて調査研究を進めていくといったことを進めていければと感じております。

私のほうからは、以上でございます。

事務局

ありがとうございます。今の話にもありましたとおり、7月25日を予定していますが、中島会長、牛山副会長に、こちら鈴木区長に提言という形でお渡しいただき、今の連携協働の取組、協働推進会議についてお話しいただくという機会を設定する予定になっておりますので、よろしく願いいたします。

続いて、事務局から説明をさせていただきます。おおた地域力発見ガイド2023についてです。

こちらは、先ほどの調査研究がきっかけに冊子を作るようになっておりまして、もう7年目になり、毎年2、600部ぐらい刷るものになります。

こちらを読んでいただくと、その大田区の中でも、いわゆるその地域力というものを支えているあらゆる団体の活動内容というのが、この1冊である程度把握できるもので、初めての方もそうですし、実際、取り組まれている方も、すごく読みやすいものになっているかなと思います。

今年度も、新しく2023として完成しましたので、新しい委員さんも初めて見る方も、よろしければ、こちらをご覧になっていただければなと思っております。

次に、区民協働担当で実施します新規事業について、ご案内をさせていただきます。こちらの事業は、久が原地区を中心に実施する新規事業でございます。今、全国的に自治会・町会では、役員の高齢化などの活動の担い手不足が課題の一つとなっております。

	<p>このような状況が続きますと、活動する限られた人の負担というのがさらに大きくなって、安定的な地域活動の継続が停滞してしまう可能性がございます。設立から半世紀以上たつ自治会・町会もある中、時代は、本当に大きく変化していて、住民のライフスタイルや価値観も多様化しております。</p> <p>このような時代やニーズの変化を感じ取り、対応していくことが、町に躍動感を与えて、みんな地域に興味や愛着を持つ第一歩になると考えております。そのためには、若い世代に積極的に働きかけ、若い世代を巻き込みながら、コミュニティー作りを進めていく必要がございます。</p> <p>そこで今回、久が原地区を中心に地域コミュニティーの新たな担い手の発掘をテーマにアンケート調査や、若い世代を中心とした意見交換会、地域活動体験会などを行って、自治会・町会を含めた地域コミュニティーの新たな担い手の発掘に向けて、地域活動への参加を促すための具体的なアイデアを探っていきたいと考えております。</p> <p>以上です。</p>
会長	<p>ありがとうございました。何かご意見はございますか。</p>
中原委員	<p>令和3・4年度で区民協働推進会議活動報告書ができて、業務・行政に求める政策の方向性をここの委員の提言として、報告するのですか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
中原委員	<p>そして、3点報告をするという運びになるわけですね。その方向性に基づいて、具体的に何をするかというのが、次の段階ですね。その辺はどのようにお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>令和3年度、4年度の結果を見ていただくと、こちらに書かれております。これは私どもの案で、これから皆様にご検討をいただく内容ではありますが、例えば、今回、この後に出てきます私どもの新規事業というのが、ここで書かれております検証結果の一地域における公共人材の発掘・育成と書かれております。</p> <p>このような私どもの新規事業を活用しながら、実現に向けて、具体的に取り組んでいきたいなと思っております。</p>
中原委員	<p>今の話の中でよろしいでしょうか。</p> <p>おっしゃったように、公共人材の発掘育成に対して、この案が出てきたと私もよく理解をしています。このまちづくり(案)の中で、これは、区が行う事業となりますが、我々のこの委員の役割というのは、どんなことをすればいいのかをちょっと教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>こちらの事業につきましては、久が原地区の自治会・町会のご協力も得ながらやっていく予定ですが、皆様方からも様々なご意見をいただいて、いただいたご意見を取り入れながら、事業に取り組んでいくことができれば良いなと考えているところです。</p>

<p>中原委員</p>	<p>久が原の地区には、虹の家という高齢者と地域の方が作った本当にいい取組をしている所もあります。子ども食堂的をやっている所もありますし、もちろん、自治会・町会もそれに加わっている部分もあります。また、子どもの支援プロジェクトというのをやっております、その中で高校生・大学生がいろいろ意見発表し、支援の輪ができています。つまり、地域のタイアップ、連携をしながらやるべきかなと思います。</p> <p>久が原地区は、社協も地域福祉コーディネーターが、先ほど申した虹の家だとか、あるいは自治会・町会と一緒に地域づくりに取り組んでいる部分がありますので、今後、連携をしてやっていくというのが、非常に重要かと思います。</p> <p>地域における人材を発掘というのは、本当に大きな課題だと思いますので、久が原地区を一つのモデルとするのでしたら、次に、つながるようなモデルみたいな部分をぜひやってほしいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。これは、一つのスモールゴールと捉えておりました、また、次のステップに進めたらいいなと思っております。</p> <p>地域のそれぞれの事情も違いますので、久が原で成功したケースがそのまま他の地域へ持って行って成功するかというと、そうでない場合もあるとは思いますが、一つ何か久が原モデルみたいなものができれば、小さな一歩につながるのかなと思っております。</p> <p>やはり本当に防災なら防災に特化した団体があったり、子育て支援であれば、そこに特化した様々な団体が区内にはございますので、そういった団体にもお声かけしながら、自治会・町会単体ではなく、他の地域を巻き込んでこの事業を進められたらなと思っておりますので、ぜひ社会福祉協議会の皆様方にも、ご協力・ご支援をいただいで進められたらと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>久が原地区をモデルとしてやろうとしている目的は、一つですからね、調布地区、蒲田地区、池上地区とか地区によって、中身は完全に違うと思っています。</p> <p>目的は一つでも、方向性が変わっても構わないですし、決め付けるとやりにくくなると思いますよ。やはり、その目的を達成するためにどうあるべきか、各地区がみんな、それぞれ委員・役員さんが出て、検討しながら考えて、自分たちが考えさせる、自立させるという意味で、行政からおっしゃらなくていいような気がしております。そのほうがいいものが出来てくると思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>では、ほかにご意見等なければ、次回の推進会議の日程について、お話をさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>第3回は9月の下旬を予定しております。詳細は後日、通知いたします。</p> <p>あともう一つ、本日、今岡が開始直前に参りまして、挨拶を失念しておりましたので、最後に部長からご挨拶をさせていただきたいと思っております。</p> <p>《部長挨拶》</p>

事務局	<p>少し時間があるので、もう一つよろしいでしょうか。</p> <p>すでに、先ほどご承認いただいた助成金事業についてになりますが、今回初めて審査していただいた安武委員がお見えになっていますので、せっかくですので、感想でもご意見でも、お気づきの点でも構わないので、少しお話いただいてもよろしいでしょうか。よろしく願いいたします。</p> <p>《安武委員感想》</p>
事務局	<p>では、時間も迫ってきたようですので、この辺で会議を終了させていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>皆様、本日はどうもありがとうございました。</p> <p>《閉会》</p>